

# カナリヤ通信



第29号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、それについて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

## ～働き方について考え、気づく～

作業着 大集合!

今回は4月11日付です。テーマは「こんな作業着がほしい!!」です。

仕事をする上で必要となるのが作業着。男性中心の職場というところもあり、女性の体に合った作業着は少なかつたのではないだろうか。男性と女性では体型に明らかな差があるため「不便」「動きにくい」など、細部にわたって不満がありました。いま、建設産業界を含め女性の占める割合が多くなってきていることから、女性でも動きやすい新たなデザインを採用する会社が増えてきています。カナリヤ通信29号では「女性の作業着自慢!大集合!!」、30号では「こんな作業着がほしい!!」と題し、読者のアンケートから理想の作業着を探ってみます。



### わが社の作業着お見せします

#### 三井住友建設

満足度★★★★★4.5

機能性とデザイン性を兼ね備えている

一言でいうと

少しモダンでかつ動きやすい

理想

男女違和感なくかっこよく作業できること

意見

来年度から改定する作業着。女性活躍推進部会の女性委員と女性有志で検討してきた機能・デザインがもとになっており、満足できるものになったと自負している



#### オリエンタルコンサルタンツ

満足度★★★★★4.0

水色がよく目立ち、他社との合同見学会などでは見つけやすく、オリコンだと覚えられやすい

一言でいうと

インパクトが強い!

理想

この制服を着たいからその職業を目指してもらえそうな、子どもにあこがれを抱いてもらえる作業着。山中や川で作業をする時には動物と間違えられないようにカラフルで目立つ作業着



#### ワイビーエム

満足度★★★★★3.0

以前は淡い色の作業着だったが、数年前に一新。青やネイビーで締まりのある色合いで、特に上着がはっきりした青で初めて着た時は目立ちすぎるのでは?と感じたが、意外に慣れた

一言でいうと

目印になる!

理想

清潔感のある作業着が理想。汚れが目立ちにくい色であったり、付きにくい材質であると嬉しい。また夏場は汗が気になるので脇パッドなどがあると便利だろうと思う

意見

上下分割式の作業着の場合、しゃがんだ時に背中が出てしまうことが多いので、背面の裾が長いものがあると嬉しい



#### 日特建設

満足度★★★★★4.0

紺色で透けず、何かあった時も目立ちにくい。ただし色あせしやすい

一言でいうと

「NITTOC」の赤白ロゴが映える!

理想

色あせたり、ほつれたりしにくく長持ちして、だらしない見えないような作業着。気分が切り替わるようなものがない



#### 新菱冷熱工業

満足度★★★★★4.0

ファスナーやポケットの青いラインがお気に入り。女性用サイズもあり着やすい

一言でいうと

動きやすい

理想

街を歩いている目立たない作業着



#### 西松建設 満足度★★★★★4.0

一言でいうと

土木にはおしゃれなデザイン。緑色が差し色になってGOOD!

理想

ズボンと上着の色を別にした作業着らしいデザイン。かがんでも物が落ちない大きめのポケット。洗濯して汚れが落ちやすいこと。洗っても縮まないこと。ズボンのゴムの位置はウエストではなく骨盤が理想。街を歩いている違和感が

なく、電車にも乗れる作業着。動きやすいこと。1日中作業しても楽なもの。暑い時に涼しく、寒い時に暖かい作業着

意見

女性用は胸ポケットが小さくタブレットが入らないので、男性と同じ大きさにしてほしい。夏服は透けないように裏地が付いているが暑い。夏用作業着にブラウス型がほしい



#### ライト工業

満足度★★★★★2.0

汚れが目立ちやすい。防寒着は動きにくい

理想

汚れが目立ちにくく、収納力がある作業着。防寒着も動きやすいものがない



#### ダイダン

満足度★★★★★3.0

機能面では満足していますが、形や色はもう少し改善の余地があると思う

一言でいうと

ザ・作業着

理想

電車に乗ったり、街中を歩いても違和感がないもの



### 南国気分ですいつでも歯磨き

ちゅららの「島歯みがき」

沖縄県といえば太陽の光を受けて青く輝く海!。ことしの冬は特に寒かったので、南国の雰囲気をも感じていたい、と思う人も多いのではないだろうか。

今回登場するのは、沖縄発の「島歯みがき」。沖縄の海で取れた天然海塩と8種の植物成分、キシリトールが配合された、さわやかな使い心地のジェル状歯みがきです。合成色素・合成香料・発泡剤・研磨剤を使っていないので誰でも安心して使えます。

パッケージも沖縄らしい朱色と藍色の2色展開で、沖縄の象徴シーサーとハイビスカスがあしらわれ南国ムード満載です。

那覇空港やアンテナショップ(わたしたちショップの全国直営店)、沖縄県内のGMSの一部で販売中。価格は925円(税別)、内容量は15g×3本入り。小分けにすれば、おみや



沖縄らしい朱色と藍色の2色で展開

げやプレゼントにぴったりです。朝から歯みがきで沖縄南国気分を味わってみてはいかがでしょうか。

◇「島歯みがき」を抽選で3名にプレゼント!

住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へファクスから応募ください。締め切りは3月23日(金)です。



スマホ、携帯電話から応募できます!

A 作業着といっても色々あるね。B 女性の体型に合わせたおしゃれなデザインも増えてきたと思う。C 体型だけではなく、女性はどうしても男性と比べて寒がりだから、冬服は男性より暖かく、でも動きやすいのがいいですね。A 来月も引き続き作業着について考えるよ。アンケートから理想の作業着を考えてみよう。

編集部 放談

### 自分自身に限界つくらず成長



和太鼓奏者、ピアニスト 田中館 美未さん

ニューヨークをベースに和太鼓奏者、ピアニストとして演奏・指導活動を行っています。

最初は楽器ごとに別々に演奏を行っていましたが、昨年から新たな挑戦として両方を同じプログラムで演奏できるようになり、クラシック音楽における和太鼓の可能性や、ピアノと和太鼓の対話を通した新しい表現方法を模索しています。

音楽は言葉として具体化できない感情・感覚を表現し他者と共有できるため、時に癒しとなって人を慰め、また時には活力となって人を前向きにする力を生み出します。私も一音楽家として、自分の演奏を通して聴衆の心に何らかの

豊かさを残すことを大切にしています。表現方法が増えるほど共有できることも多くなるため、表現の引き出しを広げる上で、演奏テクニック以上に心がけているのは、何事にも好奇心を持ってよく見聞きし学び、また多様な考え方を受け止められるよう心をオープンにしておくことです。これは演奏だけに限らず、指導者という立場からも重要だと感じています。人それぞれ受け取り方や理解する速度も違うため、一つのことをさまざまな角度から説明できる柔軟性が求められるからです。自分自身に限界をつくらず、心の豊かさを養うことで、演奏者・指導者としてこれからも成長していきたいと思っています。

日刊建設通信新聞社は、内閣府、文部科学省、日本経済団体連合会が主催する「夏のリコチャレ2018~理工系のお仕事体感しよう~」の参加企業として、日本大学理工学部と共催で8月9日にイベントを開催します。「(仮)わたしの住まわちをデザインする仕事」と題し、中学生から大学生までを対象に建設産業界の技術を実感してもらう予定です。

#### 夏のリコチャレ2018

30日まで出展者募集 建設産業界の技術体感

イベントに出展を希望される方は、3月30日までに所定の用紙に記入の上、ファクス03-3259-8730または電子メール(rikochalle@kensetsunews.com)にお送り下さい。所定の用紙はホームページ(https://www.kensetsunews.com/rikochalle)からダウンロードできます。先着50社。

問い合わせは、電話03-3259-8711または電子メール。

連絡先はこちら

お問い合わせ 株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部 TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730

ご意見・ご感想、プレゼントの応募は canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。

「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。



webで公開中